

私は、岩美町出身で宮本晶夫（みやもとあきお）といいます。今年1月から、カンボジアのシェムリアップ（アンコールワットのある街）の下水道を応援するために、JICAシニアボランティアとして来ています。妻も随伴で来ています。

早いもので、あっという間に9ヶ月も経ってしまいました。おかげさまで、元気に過ごさせていただいております。



こちらの気候は、とにかく暑いです。乾期（11～4月）は、日差しが強く日中は外に出るのが大変です。夜も一晩中30℃くらいで、エアコンがなければ寝苦しいという状況です。

5月から10月までは雨期で、2、3日に1度1～2時間くらい雨が降ります。雨期でも雨があがれば強い日差しとなって、外へ出ると暑く感じます。

ここ、シェムリアップは、アンコールワットなどの遺跡群により、国際的な大観光都市になっています。

外国人観光客だけでも、年間200万人くらいで、日本人もたくさん見かけます。

この観光客を迎えるためのホテルやレストラン・ゲストハウスなどはとても多く、充実しています。

さらに、夕方からの飲食店街（パブストリート）もとてもにぎやかです。



にぎわうパブストリート

食べ物は、米が主食ですが、食材も豊富で、野菜、肉、魚など、ほぼ何でも手に入ります。南国の果物も、マンゴー、パパイヤ、バナナ、ココナッツ、ライチ、ドラゴンフルーツなど種類も多く、味も彩も華やかです。



処理場全景

私のボランティア活動は、シェムリアップの下水道施設が性能を存分に発揮できるようお手伝いすることです。

カンボジアでは、下水道のある街はまだ少なく、首都プノンペンにも本格的な施設はありません。

国は、生活排水などで国際観光都市のイメージ等が損なわれないよう、シェムリアップにはいち早く下水道を整備しました。

アンコールワット等の遺跡群の歴史的な価値や素晴らしさを世界に広くPRし、国の発展に繋がりたい、世界中から訪れる観光客等に対し、環境面でも満足してもらいたいという意気込みが感じられます。

下水道としては、まだまだ、改善すべきところが多い状況ですが、シェムリアップがこの国の下水道事業の先進的な役割を果たせるよう、任期いっぱい、引き続きスタッフとともに努力したいと思っています。

土日曜日などは、時々遺跡群やトンレサップ湖など、近くの観光スポットを見に出かけています。

遺跡群へ行くには外国人は、チケットが必要です。チケットは1日券・3日券・7日券の3種ありますが、1日券でも37ドルと高いので、そうたびたびは行くことができません。

暇があると、近くにあるシェムリアップ川沿いの熱帯高木の並木道のベンチに座って、アイスクリームをなめたり、川を眺めたりして涼んでいます。

ここは、私のお気に入りのスポットで、市内では一番リラックスできる場所です。



シェムリアップ川沿いの並木

ではまた、報告させていただきます。

2017年10月1日

とっとり国際協力大使
JICAシニアボランティア
シェムリアップ
宮本晶夫

